



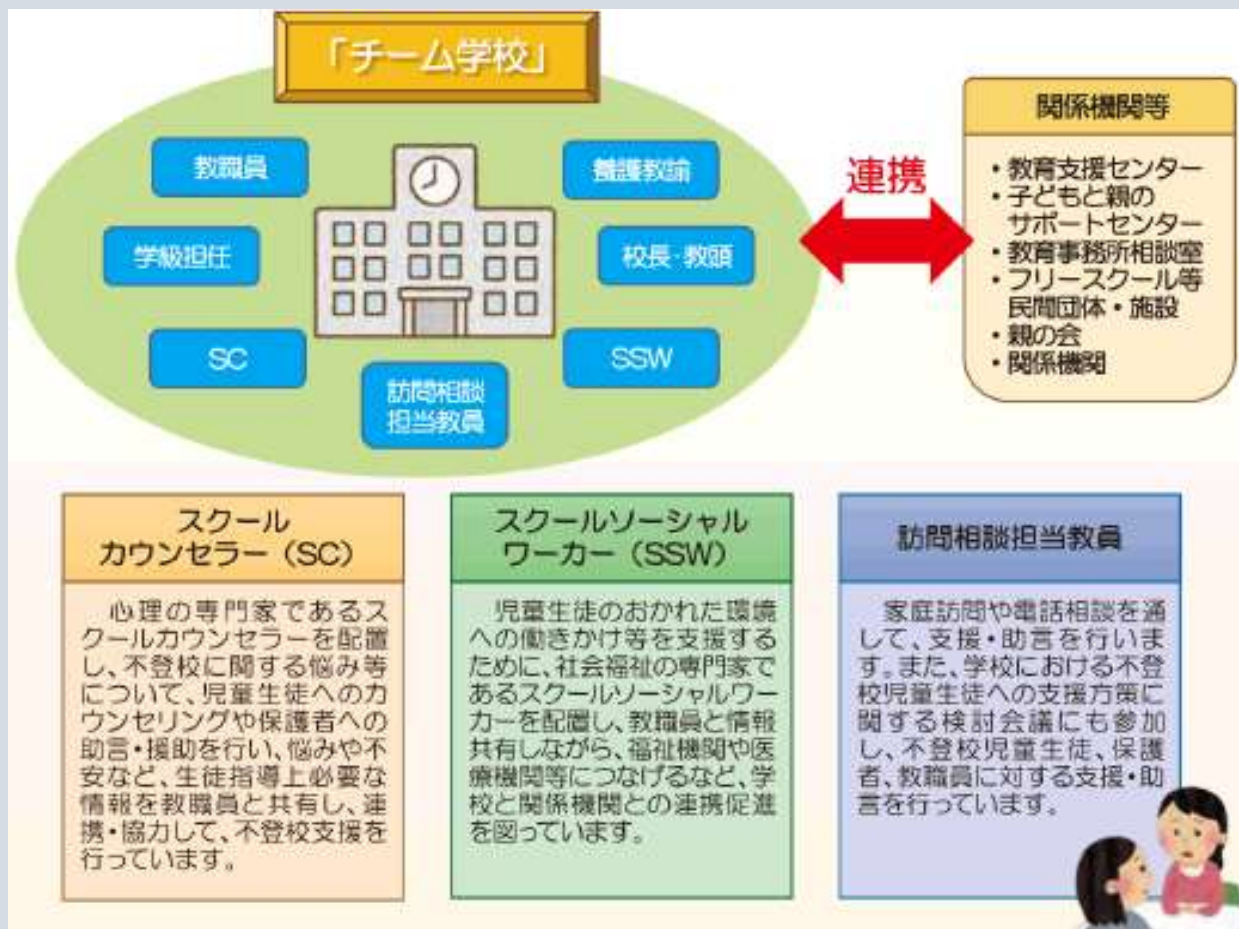
とことん うきき か のうせい つ ながり

Vol.05
2022.12

WEB版

「チーム学校」による教育相談体制

学校は「チーム学校」として、それぞれの経験や専門性を発揮しながら、情報共有や教育相談部会等の会議を行うなど、児童生徒にとって最適な支援を考え、必要に応じ、関係機関につなげることが大事です。



不登校児童生徒・保護者のためのサポートガイドより抜粋

東葛飾地区スクールソーシャルワーカー (SSW) ・ 訪問相談担当教員の派遣について

派遣を希望する場合は、学校長から担当地区の配置校の校長 (副校長) にご連絡ください。手続きや訪問活動等の詳細については、SSW や訪問相談担当教員よりご案内します。

☆訪問相談担当教員☆

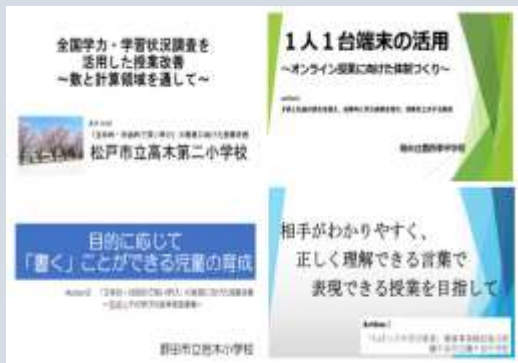
千葉県教育委員会指定の東葛飾地区不登校等児童生徒サポートセンターとして2校の配置校があり、2名の訪問相談担当教員がいます。

☆東葛飾地区スクールソーシャルワーカー☆

各市に1校ずつ配置校があり、6名のSSWがいます。また、東葛飾教育事務所指導室には3名のSSWがいます。

R4 学力向上交流会

東葛飾の学力向上 学ぶ意欲の向上と深い学びの実現に向けた授業改善
～学びの未来を目指して～



11月に『学力向上交流会』を開催しました。
『学力向上交流会』では、オンデマンドによる「動画配信」とオンラインでの「交流会」を行っています。
「動画」は以下の四つの学校に作成していただきました。

松戸市立高木第二小学校 柏市立豊四季中学校
野田市立岩木小学校 鎌ヶ谷市立鎌ヶ谷中学校

全国学力・学習状況調査を用いた学力向上の取組や1人1台端末の効果的な活用法等、たいへん参考となるアイデアを発信していただきました。

交流会では、各校の取組や課題について積極的な話し合いが行われ学校の枠を超えた交流が生まれていました。様々なアイデアが共有されたことで、学びの未来に向けた新たな取組が生み出されていくことを期待しています。

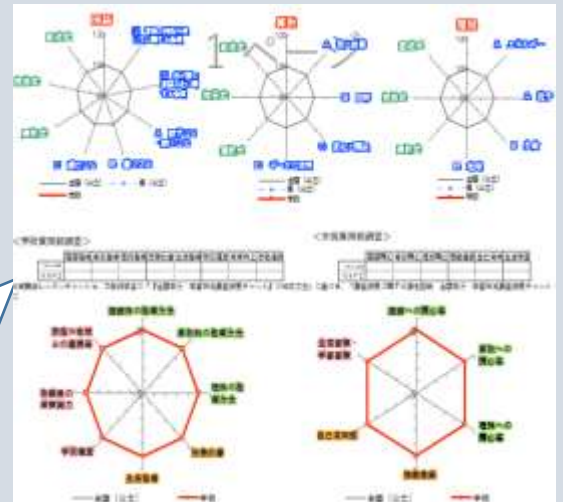
全国学力・学習状況調査

学校全体での活用率が向上しました！
児童・生徒の実態をもとにさらなる授業改善を！

全国学力・学習状況調査には、「教科に関する調査」「児童生徒質問紙調査」だけでなく、「学校質問紙調査」があることを御存じですか？

昨年度は、「学校質問紙調査」の「調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか」という設問に対する肯定的な回答の割合が全国平均よりも低く、千葉県の問題が浮き彫りとなりました。

しかし、今年度は肯定的回答の割合が大幅に向上し、特に東葛飾管内では小・中共に全国平均を超える活用率となりました。今後も、県の分析ツール(右図)を活用いただき、授業改善に役立てていただければ幸いです。



未来を創るU10

10年経験以下の頑張る先生を紹介します



令和4年度 指導室訪問校
我孫子市立布佐中学校 研究主任 泉 教諭(10年目)

泉先生が研究主任を務める布佐中学校では、「ICTを活用した効果的な学習とは？～生徒の学習意欲や学力の向上を目指して～」を研究主題とし、研究2年目の実践を進めています。今年度の『指導室訪問』においても、研究主任として各教科の授業づくりに積極的に関わりながら、全体の運営も中心になって取り組んでいました。当日は、ICTを効果的に活用した授業を複数教科で展開していただきました。

ICT活用研修、オンライン授業の実施、生徒総会を活用した生徒主体の情報モラル学習、研修時間確保のための校務のデジタル化等、リーダーシップを発揮し、全職員参加の校内研修を力強く推進しています。

学校運営の中核を担う教員として、今後の更なる活躍を応援しています。